



⑫⑤ 安心できる歯科医院を目指して(7)

前回、「何かあった時にもしっかりと管理できる治療法しておく事が安心の歯科治療」と終わりましたが、では実際どんな治療法があるのでしよう?

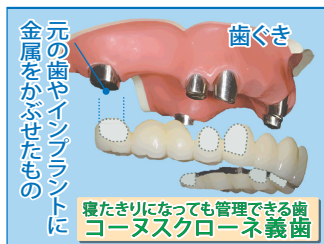
歯の無い所に人工の歯を埋め込むインプラント治療は日本では手術が必要なことや金額面で躊躇される方も多いですが、今や世界中で良い治療法の一つとされ、当たり前になってきました。

プラントという時代は終わったと感じています。今は、「インプラントは使わない」もしくは「以前入れたインプラントを併用して違う治療を行う」ということが増えてきました。

ただ、私自身インプラント専門医でもありませんが、何でもかんでもインプラントという統計が出ています。

中にはすぐ駄目になる場合も数十年持つこともありますが、要するに各々の口の中の状態や食べ物や食べ方により左右されるのではっきり定義できないのです。そのため日本

平均で言うとう歯科の詰め物は7年で駄目になるという統計が出ています。



範囲の治療しかできませんが、実は保険外では一つの治療をするための枝葉がたくさんあります。それらを選ぶのは皆さんですが、私たちは一番体に良くて機能が優れ永く持つ物を勧めています。最近では、何かあって

年(保障)のようなものがあるのですが、かなり短いものです。しかしそれらは管理の仕方によっても大きく違いますし、材料や方法によっても変わり、壊れたり直しなのか修理したりできるのかでも変わ

ります。通常、保険外の治療は保証があり、各診療所で異なりますが指定の管理を続けられれば5〜10年の保証が当たり前です。それだけ保険外の診療は材料も製作方法も違うからにほかなりません。保険診療では限られた

院長の無料相談



コラムを執筆する木村匡司院長が、お口のことなら何でも相談に応じます。毎日実施中。

歯の無料健康講座

歯と全身の健康の関わりや間違わない治療方法など現役歯科医師が解説。次回は1月18日(火)、2月12日(土)15時30分から約60分